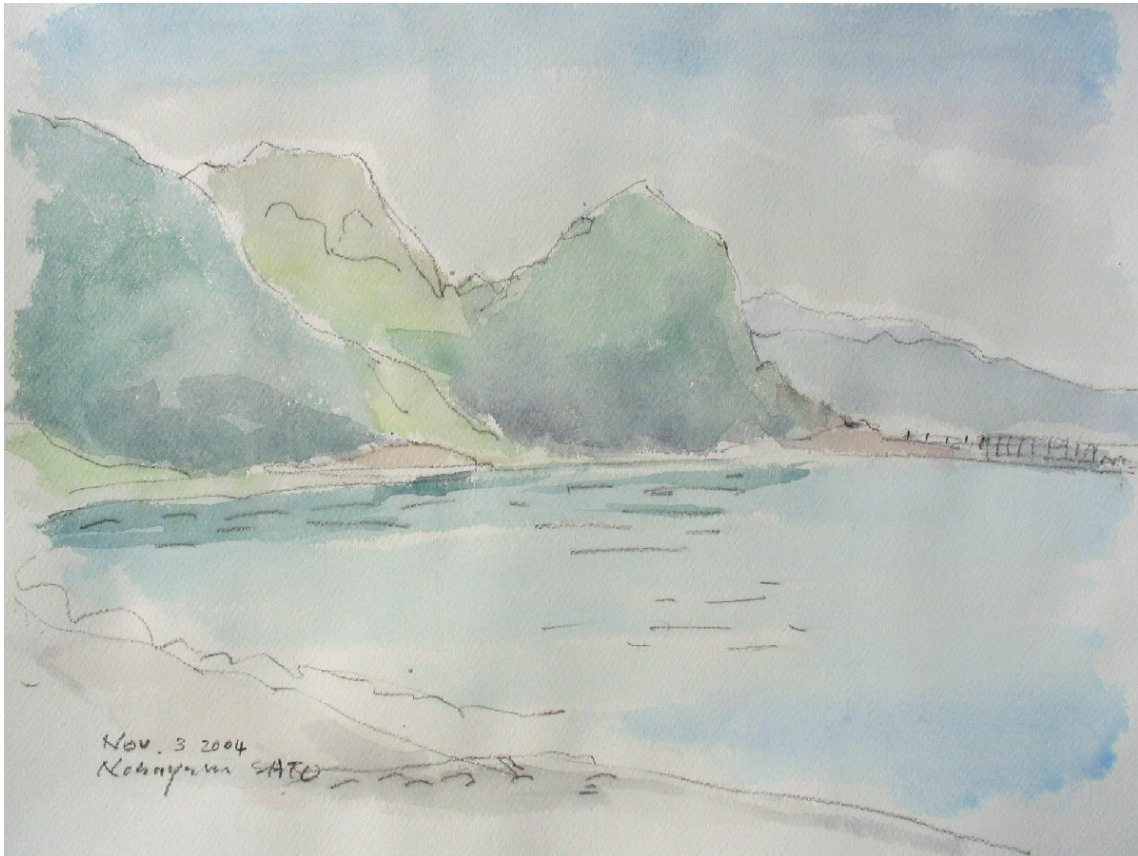


40周年富津中央ロータリークラブ5年間の歩み 2002－2007



例会場前の磯根崎



国際ロータリー第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立：1966/10/13 加盟承認：1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized：Oct/13/1966 Chartered：Dec/12/1966

刊行のことば

40周年記念事業委員会
委員長 志波 克



時代の波に乗りと言うか、押されと言うか、10年20年前に比べるとロータリー活動は縮み思考になっている。この様なときはじっくりと内容を充実させる時期であろう。

今回の節目の年40周年は、式典は行わず無理の無い記念事業と簡単な記念誌の作成と決まった。偶々当クラブ創立25周年の実行委員長を務めさせていただいた時と今回とでは、式典を省略したため表面的な華やかさに差があるが、奉仕活動の実質に大差は無い。しかし、みんなで協力して色々と苦労のある式典行事を完遂した思い出が無いと記憶には残りにくい。従ってこの記念誌が後々重要な記録誌となることは間違いない。

創立40周年記念事業として、渡辺務会員を実行委員長とする「ガラクタコンサート」開催、そして以前のマッチング・グラントによる台湾・阿里山郷への移動図書館寄贈を補完する図書購入費の贈呈は無事盛会に行われ、それぞれの地域で大変感謝された。

これらは事業そのものの意義の他に、事業を行うために必要であった会員同士の協力、地域との交流、台湾の多くのロータリアン・地区住民との懇親、会員家族の友好親睦等々、目立たないが重要な派生効果があり今後のロータリー活動を充実させる多くのエネルギーが蓄積された。

創立時33名そして最盛期には四十数名だった会員数も現在は20名。次の節目45年、50年の状況は不明だが、願わくはこの簡素な40周年記念誌がこの様な時期もあったと懐かしがられたいものである。

なお、自由原稿は個々の会員に直接お願いしないと集まり難いと故松本剛夫会員に厳しく教えられたにも拘わらずそれを守らず、記念誌の奥行きを浅くしてしまった事に内心忸怩たるものがある。

委員会が努力を怠った中、例会でのお願いだけで玉稿を頂戴した方々には深く感謝申し上げ、特に塩山クラブの熊谷富士雄氏には早くに原稿を頂戴し、記念誌の完成は大変遅くなり、御礼と同時に深くお詫び申し上げます。

目 次

第37代会長 佐藤信泰	1
第38代会長 高橋裕之	4
第39代会長 渡辺 務	6
第40代会長 白石幸久	9
第41代会長 永島 強	14
私とロータリー 熊谷富士雄	17
台湾旅行の思い出 原田雅式	19
ロータリー入会の頃 石渡 鋼	21
入会3年目に大役 大網庄一郎	23
この街は第2の故郷 佐藤信泰	24
私のロータリー 千葉一利	25
35周年誌に追加する5年間の記録	28

第37代会長 佐藤信泰

明るい未来を築くために

2002～2003年度（平成14～15年度）

会長 佐藤信泰、幹事 高島治雄

RI会長 ビチャイ・ラタクル

RI会長ターゲット 慈愛の種を播きましょう

Sow the Seeds of Love

地区ガバナー 森島庸吉

ガバナー補佐 茂田和毅



活動方針

RI会長のターゲット“自分達のクラブに、職場に、地域社会に、そして世界中のありとあらゆる場所に慈愛の種を播こう”と言う提言を受け、クラブの会員増強も望まれる中、この年度のテーマを“明るい未来を築くために”とさせていただいた。これは将来に対するロータリーの繁栄と次世代を担う若者達や地域社会に対してロータリアンの指導力、影響力を示そうとする願いからでした。

活動の概要

7. 4 認証状継承 会長・幹事就任挨拶 白井貫富津市長挨拶
- 11 茂田和毅ガバナー補佐、樋田英剛分区幹事来訪挨拶
- 17 森島庸吉ガバナー公式訪問 富津シティRCと合同例会 ホテル喜楽館
8. 8 卓話「4市百年史からのモニター観賞」石渡鋼会員
- 22 職業卓話「海の色」小嶋一朗会員
この週より伊藤糸遊会員の俳句を毎週掲載
- 29 元会員鈴木正淳氏逝去 享年95歳
9. 12 卓話「故鈴木正淳元会員の遺徳を偲んで」刈込碩弥会員
- 13 R情報研究会 テーマ「進んで参加しましょう」講演 リーダー本間始氏
ホテル千成
- 19 敬老の日特集 75歳以上の会員（長谷屋、松田、刈込、町澤、粕谷、伊藤の各会員）に俳句を添えて祝の品を贈呈。松田和雄、刈込碩弥、町澤清太郎の各会員によるスピーチ
10. 3 卓話「ケアの心を深める・2.5人称のケア」三枝一雄会員
- 10 卓話「富津中央RC誕生秘話・創立記念日に寄せて」石渡鋼会員
- 17 卓話「富津市の現況」吉本充県議会議員
卓話「市民文化教養講座の原稿をもとに」刈込碩弥会員

- 24 新会員田中實氏（観光業）入会
11. 7 卓話に代えて、落語桂三木助の「芝浜」を聞く会 志波克職業奉仕員長
16, 17
地区大会ホテルニューオータニ幕張
当クラブ表彰者
85歳に達したロータリアン・通算30年100%出席会員
松田和雄会員
ポールハリスフェロー 佐藤信泰会員
- 23, 24
塩山RC公式訪問 6:30p.m.より合同例会 甲州塩山温泉ゆばた旅館
翌日、米山梅吉記念館見学 参加9名
- 28 卓話「塩山RC・米山奨学記念館を訪問して」千葉一利、豊島豊、飯倉清種、
小野恒靖、小嶋一朗の各会員
12. 5 新世代のための委員会にローターアクト設立小委員会を設置
委員長 千葉一利 委員 小野恒靖、三枝一雄、高島治雄、佐藤信泰
卓話「富津市文化財審議会視察研修会に参加して」刈込碩弥会員
- 12 年次総会開催 指名委員会(飯倉委員長)からの提案審議の結果、次次期会長
平野丘会員、幹事田中實会員及び次期理事7名が承認決定
- 30 卓話「日本史の中の我が郷土」佐貫中学校山田勲氏
2. 7 IM テーマ「One for all All for one」長島洋三リーダー講演「ロータリーの
危機」 当クラブ発表者 高橋裕之会員 ホテル千成
- 13 卓話「書籍の話」刈込碩弥会員
- 14 ローターアクター募集開始
- 27 卓話「カンボジア見聞記」志波克会員
3. 13 RAC設立のための各種団体代表への説明会開催
- 20 卓話「シニアアクトの出番です」高島治雄会員 「千葉の観光」田中實会員
- 27 卓話「私の生い立ちと歩み」坂口文雄牧師
4. 3 卓話「八丈島親睦旅行」志波克会員
- 10 卓話「作品紹介とスピーチ」日本画家高増暁子様
退会者 倉本弘信会員、入会者 地曳茂会員
- 17 米山奨学生金錫佑（韓国、千葉大）の世話クラブに決定
カウンセラー 千葉一利会員
卓話「東西連係ガス導管工事概要」富津火力建設所吉田所長様他
- 24 移動例会 十仙坊 卓話「郷土史について」内野美三夫様
- 11 RA説明会 メンバー候補者5名
6. 10 富津市3クラブ合同例会 ザ・フィッシュ

- 1 2 塩山R C内藤進会長以下7名来訪、雨天の為潮干狩りを中止し親睦会となる
- 2 6 年度最終例会 慰労会

この年度の最優先課題R A C設立は残念乍ら達成出来ませんでしたが、今後も次世代の育成に取り組みたいと考えます。

富津岬展望台



明治 100 年を記念して建てられたこの展望台は五葉松をモチーフに設計されたと聞いています。

デザイナーの私にとっては何となく気になっていた身近にある建造物の一つです。

この塔を登るためには 7 箇所階段口があり、頂上の前ではいつの間にか 1 箇所の階段に導かれてしまいます。迷路を思わせるようなこの構造は不思議な彫刻とも受け取れてきます。こんな魅力を記録に残したい、表現したいと言う思いのスケッチです。

展望台からの眺望は、横須賀、横浜、東京、千葉、木更津、鋸山、館山方面と一周できます。又、この周辺は海浜植物の群生地として植物学的にも貴重な存在とのこと。

第38代会長 高橋裕之

2003～2004年度（平成15～16年度）

進もう 明るく 楽しく 元気よく

会長 高橋裕之、幹事 永島 強

RI会長 ジョナサン B. マジリアベ

RI会長テーマ 手を貸そう

Lend a Hand

地区ガバナー 増田 豁

ガバナー補佐 千手教行



「明るく・楽しく・元気よく」が、私の年度のテーマでした。

2003～2004年度は、何となく日本全体の元気がないように思えたので、ロータリアンが元気を出すことによって、社会の元気を取り戻すつもりで決めたものでした。

例会での会長挨拶には、タイムリーであっても暗い話題は話さず、何かしら明るい話題を見つけて挨拶を一年間通して致しました。

主にインターネットからのニュース情報が中心でしたが、ニュースという性質からか、逆に如何に暗い話題・事件が多いかと改めて気づかされた一年間でもありましたが、勿論、ロータリーでの一年間は、楽しい思い出ばかりでありました。



塩山RCとの親睦ゴルフ大会

鹿野山CC 2003年10月5日



嘉義南RC 25周年記念式典参加

2004/3/10~12

増田ガバナー年度であり、ガバナー補佐は袖ヶ浦RCの千手教行会員でした。

米山奨学生の金錫佑君を千葉一利会員がカウンセラーとなり、サポートしました。

5/23~5/24にかけて、大阪国際大会に総勢10名で参加しました。



社会奉仕委員会で企画した桜の苗木の植樹を、中央公民館にて行いました。

富津RC神子会長・永井幹事並びに富津シティRC平野会長・中島幹事、そして両クラブの会員を迎えて、幹事クラブとして市内3クラブ合同例会を開催いたしました。

姉妹クラブ塩山RCを訪問し、石井会長はじめ塩山RCの皆様には盛大な歓迎を受けました。

会報を読み返すと、昨日のことにように楽しい思い出がよみがえって参ります。

富津中央RC40年間の歴史の内、一年間を会長としてお預かりし何とか次の会長へとバトンを渡せたことに、今でもほっと安堵している次第です。

第39代会長 渡辺 務

2004～2005年度（平成16年～17年度）

ロータリーを楽しもう

会長 渡辺 務 幹事 志波 克

RI会長 グレン E. エステス シニア

RI会長テーマ ロータリーを祝おう

Celebrate Rotary

地区ガバナー 杉木 禎

ガバナー補佐 浜名宏行



活動方針

今年度 RI 会長の上記の(ロータリー結成100年)テーマを实践する為に我々一人一人が考えるべきことは、過去、現在、をどのように行動してきたか、そして未来に向けてどの様に行動してゆけるか?その捉え方であると理解しました。

それを私は「奉仕の心」と考え、本クラブのロータリアンを主体としたメンバー全体の共通の「心」、例えば善良な習俗であったり、超我の思いであり、良質で温かい気配りであり、また、強い情熱などに表されるその「心」を共通の思いとして誇りを持って行動してゆくことで「ロータリーを祝う」というテーマを实践してゆこうと考えました。

活動概要

当クラブのメンバー一人一人がそれぞれの価値観、環境、興味の中で愉快地、満ち足りた気持ちで喜びを確かめ合いながら過せるクラブ。世代を超えて相互に和み交流し、親睦を深める、それを真に実現する為の共通の心を持ったクラブを理想とし以下の4点を具体的目標としました。

- 個々のメンバーが相互に研鑽し合い、楽しみながら情熱を傾けられるようなクラブ造り
- 会員の職業分類の再認識をし、職業卓話や他クラブのメンバーとの職業を通じた交流の促進
- 地域社会への奉仕としてローターアクト設立の可能性や地域の宝としての子供たちに対する活動
- 国際理解と親善を深める為の活動として引き続き留学生の支援

以下、月を追って概要を述べます。

7月

7月1日に白井 貫市長(当時)を来賓に第一回例会、第二回例会では浜名ガバナー補佐にご挨拶をいただきその後、各委員長に今年度の活動方針を発表していただく。

8月

8月19日に市議会議員の中後淳氏を迎え卓話をいただく。

最終26日は永島会員の経営する海の家にて夜間例会「ハワイアンのタベ」を開催

9月

9日にはクラブフォーラムを開催

テーマ「子供が見えない」どのように子供に命の大切さや尊さを理解してもらえるか、子供たちに近づいてゆけるかを考えました。

10月

7日ガバナー杉木禧夫氏を迎えて市内3クラブ合同例会

職業卓話などを経て28日は移動例会。市内の宮醤油店の工場見学

11月

14日は移動例会とし、上野の東京都美術館で日展見学

25日は社会奉仕委員会担当、大貫駅前の清掃作業

12月

2日年次総会

9日クラブフォーラム

台湾 嘉義南区扶輪社とのマッチング・グラントについて

16日夜間親睦例会



塩山RCと姉妹契約更新

1月

6日新年初例会

各メンバーの年頭所感などの発表があり20日にはロータリー情報委員会の卓話
志波幹事の決議23-34についての講演を聞く

2月

世界理解月間にちなみ留学生キム君の卓話や国際交流協会に関する小野会員の卓話。

20日は姉妹クラブ塩山RCを訪問、満開の桃の花を愛でながら旧交を温める。

3月

3日職業卓話 白石幸久会員

10日 留学生キム君の送別会

17日 ローターアクトについての卓話
佐藤 信泰会員

24日 カリスマスピーチ卓話
小野恒靖会員



31日 佐久間 清治市長講演
17年度富津市の施政方針について

4月

各週を会員による卓話とした

5月

12日 佐貫 新舞子海岸の清掃活動
19日 次年度活動計画についてのフォーラム
25日 市内3クラブ合同例会
浜田靖一衆議院議員講演

6月

9日 浜名ガバナー補佐 退任挨拶
16日 富津市商工観光課 萱野課長の出前講座
「富津市の観光について」

他、会員卓話を交えて一年間の活動を終了しました。

以上の活動のほかに、年度当初より台湾姉妹クラブ
嘉義南区扶輪社と連絡を重ね、先方をホストとするマッチング・グラントの計画にも協力をしました。

翌年度3月(2006年)に計画の実現を見たプロジェクトの準備に携われたことは、幸運であります。



阿里山郷長陳明利氏とマッチング・グラント贈呈式にて

第40代会長 白石幸久

2005～2006年度（平成17～18年度）

奉仕の理想を求めよう

会長 白石幸久 幹事 石渡 鋼

R I 会長 カール ヴィルヘルム ステンハマー

R I 会長テーマ 超我の奉仕

SERVICE Above Self

地区ガバナー 山中義忠

ガバナー補佐 泉 正泰



活動方針

ロータリアンの先輩の言葉にこのようなフレーズがあります。

- 明日を楽しみたいと思う人は花を活けなさい。
- 一年先を楽しみたいと思う人は花を樹えなさい。
- 十年先を楽しみたいと思う人は木を樹えなさい。
- 百年先を楽しみたいと思う人は人を育てなさい。

さて今年度R1のカール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長はテーマを「超我の奉仕」(SERVICE Above Self) としました。すなわち過去からの継続性を維持しつつ、未来に向けてまっすぐな道のりを据えることが必要であると述べています。

しかし、日本国内においてどうでしょう。青少年を対象とした犯罪が連日世間をにぎやかし、経済状況については多少上向きであるといっても、将来に対し不安なため実際の消費はまだ上昇が望めない状態であります。各クラブについてはどうでしょうか。会員の退会が多く増強がなかなか望めないのです。このようななかで、どのようにして超我の奉仕を実施していくのかを考えなければなりません。

そんな時、会長エレクトセミナーで当2790地区山中義忠ガバナーは超我の奉仕を奉仕の理想と考え、自分以外の人に優しく、時には厳しく、与えるだけの超我が愛、そっと与える行為を奉仕と自認しておりますと、依って奉仕の理想は世界平和の実現であると述べられました。

私は超我の奉仕を次のように理解しました。多くのロータリアンが培ってきた過去のロータリー活動から現在を、そしてそこから未来を学びとっていき、それこそ超我の奉仕、すなわちどのような心をもって奉仕していくかが問題となるのである。例えば、最澄伝教大師のいわれる自利利他、自利とは利他をいうことです。世のため、人のため、社会のために精進努力の生活に徹することこそ、それがそのまま自利、すなわち本当の自分の喜びであり、幸福なのだ。このような心境に立ち至り、かかる本物の物となって

社会に奉仕することができれば人は心から生き甲斐を感じるはずである。このことによって本年度R1のテーマ超我の奉仕を実現できると思います。

具体的に述べさせていただきます。

- ① 例会の充実であります。
会員一人一人が相互に楽しみ、喜べるそして資質を高めることができるようなクラブ造り、運営をしていきたいと考えています。
- ② 専門的な職業を通して社会奉仕をしていくこと。
ポールハリスはこう述べています。社会に役立つ人間になる方法は色々あるがもっとも身近で効果的な方法は、間違いなく自分の職業の中にあると。
- ③ 会員増強です。
なんといっても経済状況が厳しい現実のなか増強は大変です。少しずつ、一人ずつ、情報を集めながら会員一人一人にがんばっていただきます。
- ④ 地元地域社会における文化の向上と環境の保全です。
他の団体とちからを合わせながら、汗を流して環境の保全をし、文化の向上に努めてまいります。
- ⑤ 姉妹クラブ等の国際理解と親善を深める。

以上、具体的な項目を遂行するため、当クラブの目標を「奉仕の理想を求めよう」に決定いたしました。会員の皆様一人一人と一緒にこの奉仕の理想を求めていきましょう。一年間よろしく願いいたします。

活動の概要

7月

- 7日 佐久間市長、富津シティ和田昇会長、朝倉輝男幹事をお迎えして新年度スタートまた、マザー牧場支配人三井進様
新入会員となる

- 14日 各委員会より本年度の方針並びに
計画の発表
- 21日 同上
- 28日 泉正泰第4分区ガバナー補佐、黒田
雅俊分区副幹事をお迎えしての夜間
例会（新入会員歓迎会） 理事会開催



8月

- 4日 クラブフォーラムを開催（岩瀬、新田、小久保、佐貫の各地区に分かれる）

- 11日 終戦の思い出として石渡幹事のVTRによる卓話
 - 18日 三枝一雄会員による「戦艦大和…復元に思う」の卓話
 - 25日 残念！！ 台風のためマザー牧場での移動例会中止
- 9月
- 1日 佐藤会員の「ローターアクト設立の現況等について」卓話
 - 8日 榎本守男新世代委員長の卓話「世界の子供たちはロータリーの未来」
 - 15日 富津市役所出前講座「富津市における高齢者福祉と介護保険制度について」…森田益光福祉事務所長
 - 22日 クラブフォーラムの発表 渡辺務会員、榎本守男会員、高橋裕之会員「幸のはっぴ」が飯倉清種会員よりプレゼントされる
 - 29日 夜間例会（句会）講師 三枝富美代先生
- 10月
- 6日 永島会長エレクトが会長代理
 - 13日 職業奉仕がロータリー活動の原点と題して、高島治雄職業奉仕委員長の卓話
 - 20日 カールスバット在住、メッセンジャー清子様と国際交流協会の皆様をお迎えしての例会
 - 27日 優良従業員表彰として、三枝病院薬剤師の川名直子様、お客様として三枝富美代様、国際交流協会の皆様、卓話マッチング・グランドについて…渡辺務会員
- 11月
- 3日 例会休会 イサム・ノグチ展、日展見学 石渡鋼会員、小野恒靖会員、白石
 - 10日 移動例会 東日本資源リサイクル（株）見学
 - 17日 地区WC S委員上総ロータリークラブ野村進一様卓話
 - 19日、20日 地区大会 11名参加
 - 24日 早朝移動例会 大貫駅清掃 刈込先輩、村田喜身江さんがんばる
- 12月
- 1日 前米山奨学生金君の見舞について 千葉一利会員（カウンセラー）理事会
 - 15日 志波克会員提案による手づくり会報始まる
卓話は保健師鹿島亜希子様による「生活習慣病について」
 - 22日 忘年家族例会
- 1月
- 5日 年頭所感 ニコニコボックス大繁盛
 - 12日 同上
 - 26日 ガバナー公式訪問 山中義忠ガバナー、山中万里子夫人、泉正康ガバナー補佐

2月

- 2日 会長代行 永島エレクト、卓話 佐生一郎国際奉仕委員長
- 9日 石渡鋼幹事の塩山ロータリークラブ熊谷会員への一言色紙回覧 ガラクタコンサート提案、渡辺務会員
- 17日 IM
- 19日 塩山ロータリークラブ訪問
- 23日 夜間例会 原田雅式新入会員を迎える

3月

- 2日 千葉一利プログラム委員長 フリートーキング例会
- 9日 白井敏夫富津市少年野球連盟会長 野球大会報告
- 16日 台湾姉妹クラブ訪問打合せ、千葉一利会員による中国文化研究会のお誘い



21日、22日、23日 台湾嘉義南区ロータリークラブ、台湾西区ロータリークラブ訪問 マッチング・グラウンド計画により移動図書館の贈呈



- 30日 川柳を親しむ夜間例会
第一位 床屋に行く時間あれど
髪がない…原田雅式会員

4月

- 6日 通常例会 横山庭園桜点検会
- 13日 石渡鋼幹事訪台団ビデオ上映
- 20日 マザー牧場 移動例会
- 25日 富津市内3クラブ合同例会 卓話 黒川逸富津市教育長「生きる力」を育む教育と文化の香るまち

5月

- 11日 映画「不撓不屈」原作高杉良…ダイジェスト版上映
- 18日 通常例会 お客様泉正泰第4分区ガバナー補佐、白熊大次期第4分区ガバナー補佐
- 25日 地区協議会報告 永島強次期会長、大網庄一郎次期幹事、鈴木一彦君信支店長入会歓迎 夜間例会

6月

- 1日 通常例会 今年度を振り返って各委員長報告

- 8日 通常例会 次年度会長方針
- 15日 通常例会 渡辺務ロータリー財団委員長卓話
- 22日 通常例会 卓話 原田雅式会員「その時、歴史が動いた」
委員会報告 渡辺務、ガラクタコンサート実行委員会委員長報告
- 29日 会長幹事慰労例会



マッチング・グラント贈呈式

第41代会長 永島 強

2006～2007年度（平成18～19年度）

残心にあり

会長 永島 強 幹事 大網庄一郎

RI会長 ウィリアム B. ボイド

RI会長テーマ 率先しよう

Lead the Way

地区ガバナー 白鳥政孝

ガバナー補佐 白熊 大



創立40周年と云う記念すべき年に、実績のある富津中央ロータリークラブの会長に就任させて頂き、責任の重さを痛感しております。先輩諸氏の築かれた伝統を敬い、善意と好意と微笑を絶やさず、私の構想を実践し、良きロータリアンとして、ロータリー活動の更なる発展に取り組んでいく所存です。

2006～07年度RI会長「ウィリアム・ビル・ボイド」氏の本年度のテーマ『LEAD THE WAY（率先しよう）』を熟読し伝統ある富津中央ロータリークラブの代表と云う重責にあたり奉仕の理想を鼓吹し育成することに、あらため思い致しながら、現在の日本の大人や未来を託する子供までも「前のめり、急ぎ足」の生き方に残心という言葉を読み出し、今年度当クラブのテーマを『残心にあり』と決めました。

残心という言葉は、～心残りの意ではなく、一事を成し終えたあとでも緊張を持続し、反応を見極める。次に備える力の蓄えた深い知恵の構え～

武道に携われた方はよく耳にする言葉と思いますが、武道だけでなくテーブルマナーにも使われ、食器やグラスを膳やテーブルに置く時、放す手に少しだけ心を残すことが粗相する事も少なく、何事にも通じる大切な事と聞かされました。今こそ必要な心構えと考えます。先輩の足跡を受け継ぎ、伝統を大切に、力を蓄え「決意を新たに率先して」地域社会に密着した活動を重ね、急がず、謙虚にロータリアンの使命を全う出来る様、心して次の活動方針を掲げ、頑張っていきたいと思っております。

活動方針

お互い善意と好意を持ち、微笑み絶やさず、心を持って地域のため、自分自身のため、尊敬される奉仕活動の場を持つ。

月一回（例会）は会員増強の状況報告。クラブ内の情報交換の場を持つ。

会員お互い童心に返り、心の癒し、同士の絆を高める親睦活動の場を持つ。

会員各自「会員増強」の四文字を常に頭の隅に置き、知人、後継者、女性会員の入会を奨励する。

ロータリークラブ行事、会議に積極的に出席する様奨励する。

環境の保全、文化の向上に目と耳を傾け綺麗な地球を守る気持ちを奨励する。

以上の活動計画を立てました。会員皆さんで知恵を出し合い、心を持って地域社会に少しでも貢献しましょう。

会員諸氏のご指導とご協力を宜しくお願い致します。

活動の概要

7月 初例会 認証状引継

富津市長佐久間清治氏、富津シティRC会長緒形弘氏、同幹事渡辺敏氏 出席
各委員会今年度活動方針を発表

8月 終戦の思い出 卓話「シベリア抑留体験」元市議会議員林興一氏

「ガラクタコンサート」Ticobo 大貫小学校体育館 主催 富津中央RC
協賛 ボーイスカウト富津1、ガールスカウト千葉96、大貫小学校PTA、
大佐和地区青少年相談員

9月 敬老の日 物故会員追悼 記録ビデオ放映 各記念樹視察手入れ

チャーターメンバー松田和雄会員退会

10月 移動例会 鹿野山佛母寺にて坐禅体験、40周年記念卓話 佐生一郎 刈込碩弥、

ガバナー公式訪問、地区大会 幕張メッセ

11月 移動家族例会 山梨県西沢渓谷にて

紅葉を楽しむ、嘉義南区RC来訪

(家族共35名) マザー牧場にて移動例会



12月 年次総会 次次年度会長高島治雄

同幹事佐藤信泰、又、次次年度ガバナー

補佐候補として石渡鋼 同地区幹事候補として渡辺務

年忘れ夜間家族例会

佐生一郎 飯倉清種両会員退会

- 1月 今年の抱負発表 全会員
- 2月 第4第5分区合同IM 上総アカデミアホール 富津市3RC主催、
市内少年野球大会開催
- 3月 第4分区親睦ゴルフ大会 カナリアガーデンCC、塩山RC創立35周年記念
式典出席
式典前に現地にて移動例会 甲州市民文化会館、市内中学校野球大会
富津市内3RC主催
- 4月 創立40周年記念行事 嘉義南RC・台南西RC訪問 阿里山郷へ図書贈呈
10名参加
富津シティRC創立15周年記念例会に親クラブとして多数会員参加
- 5月 富津市内3クラブ合同例会 塩山RC会員家族を迎え「富津の海を楽しもう」



大親睦例会

潮干狩り 海鮮バーベキュー 岬荘



- 6月 第4分区新旧ガバナー補佐御来訪、新旧会長幹事会 山徳旅館
最終（第47回）例会 午後ハーフゴルフコンペ 家族親睦夜間例会

回想

創立40周年という記念の年度に第41代会長として就任させていただき大変光栄でした。計画通り記念行事も順調に終了することが出来ました。会員の皆様に感謝いたします。残念ながら、年度初め22名でのスタートが、入会1名、退会3名で年度末には20名となりました。増強活動に成果が上がらず大変申し訳ありませんでした。

次年度以降も、より気持ちを引き締めクラブ発展のために力を尽くす所存です。有り難うございました。

私とロータリー

富津中央ロータリークラブ創立四十周年に寄せて

塩山ロータリークラブ元会員 熊谷富士雄



私が塩山ロータリークラブに入会した当時家族や近所の人達に「“ロータリー”って何ですか」と尋ねられても詳しく答えられませんでした。クラブの先輩方に聞いても私自身納得のいく答えが得られませんでした。ロータリーでは年度が替わる度に、R Iの会長、ガバナー、クラブの会長から年度の方針が提示されます。その中で私の好きだったターゲットは「ロータリーは親睦から」「楽しくなければロータリーではない」「ロータリーは参加することに意義がある」「ロータリーはまず出席から」このように私の好きな方針があったことを思い出します。さらにガバナーが公式訪問で「超我の奉仕」について長い時間解説を頂きましたが完全に理解するまでに至りませんでした。

幾年か経ちロータリーに馴染んだ頃、富津では島田会長年度で塩山は小川会長年度でした両クラブが姉妹クラブの締結をしました。以来相互にクラブ訪問を重ね、友情と信頼を深めてきました。私にとって掛け替えのない経験でした。例会や行事に参加し多くのロータリアンと交流することによってロータリーについて理解が深まり相互の友情も信頼も厚くなるものと理解しました。

あるとき国立大学の学長先輩に「先生歩くのに大変なのに例会は勿論多くの行事に良く参加してご苦労様ですね」と話しかけましたが先生は笑いながら「ロータリーは参加することに意義があると言われるから枯れ木も山の賑わいと思い参加しているよ」と答えてくれました。その時私もこんな素晴らしい会員になりたいと思ったものです。その先輩も私より早く足が弱くなり「老兵は静かに消えゆくのみ」と退会しました。今は近況を話し合っ

ています。

ロータリーの誕生を考えてみるとその根底には「親睦、友情」があるものと考えます。今百余年の時を経て世界平和のため多く奉仕活動が続けております。私もささやかであります。その中の一人でした。クラブの会長を引き受ける頃R Iの日本支局からロータリーの文献を購入して少し勉強しました。「超我の奉仕」についてい



つも考えていました。ある時私は思い立って先祖の墓の草取りに行きました。その帰りに自身が何とも言えぬ爽やかな思いになったことがありました。思想、宗教、など超越したロータリーの奉仕活動、我欲を無にした奉仕に通じるような気がしたものでした。私は退会の挨拶に富津へ出掛けました。

例会日を間違いクラブの皆様にお会いできず、さゞ波旅館の御夫妻に挨拶して帰りました。年が変わり花の咲く頃富津中央ロータリークラブの皆様が来塩された時、私も招かれ思いもよらず皆様の心暖かい額入りの寄せ書きを戴き感謝の言葉もありません。ロータリーに在籍した証として我が家の家宝として子供達に残していく所存です。本当に有難うございました。終わりに富津中央ロータリークラブの益々の充実と発展、会員皆様のご健康を祈念し挨拶とさせていただきます。



台湾旅行の思い出



原田雅式



私は2006年2月23日にRCに入会しました、入会して2年半ですが、この間3年連続で台湾に行きました。最初は白石会長年度の2006年3月21日～23日の2泊3日で、たまたま嘉義南区

扶輪社（RC）の創立27周年記念式典と姉妹クラブ締結の更改年に当り、観光を兼ね訪台したもの、中でも初めての台湾訪問で嘉義南RCのメンバーとの懇親会では、乾杯の嵐でびっくりしました。

この訪台時、白石会長、と渡辺前会長がホテルの廊下でびっくりかえっていましたが、かなり紹興酒がきいたのでしょうか。

翌日、中正記念堂見学にいきました、この中正記念堂は、先の中華民国総統、蒋介石氏ゆかりの文物を展示しており、蒋介石記念館とも言われております。台北市の中心に位置し1980年3月完成、総面積は25万㎡である。この記念堂は、高さ70メートル屋根は八角形でサファイアブルーとなっている、2階の大広間には蒋介石総統の遺墨が彫りこまれており、氏の遺業を称えている。



翌年の2007年は、阿里山へ移動図書館（車）に入れる図書を送るということで、嘉義南RCのメンバーと阿里山へ行った。

この阿里山は約3千mもあり、森林鉄道で3時間かけて昇り、阿里山の郷長（町長？）陳明科氏に、日本円で20万円の図書費を贈呈した。やはり3千m級の山頂は涼しいを超えており寒くて、春でも、冬服が必要でした。

阿里山から日月潭（ニチゲッタン）を見学して埔里（ポリ）へここの天水蓮大飯店（ホテル）に宿泊しましたが、ここで事件が起きました、ホテルのレストランで食事すること

に、でも日本円もカードもダメと断られ、止む無く当RCのメンバーから台湾ドルを借り
食事となりました、台湾の田舎で、南投県ポリという場所は、余り日本人観光客など来な
いのでしょうか。食事は安くておいしかったことを覚えております。お金があっても払えな
いという不思議な体験をしましたが、今になってみれば楽しい思い出となりました。



ロータリー入会の頃

石渡 鋼



ロータリーに入会したのが32歳の時、そしてあれからちょうど32年、人生の半分をロータリアンとして過ごせようとは夢にも想像しませんでした。当時自分の母親と同級生というメンバーが3人も居られ、文字通り息子のように目をかけて頂き、純朴無垢(?)な山が育ちの農村青年を引っ張ってくれました。「無理だったら何時や辞めてもいいかな、」と十代目内野会長に誘われ、最初は怖いもの見たさ、ノゾキ気分で恐々入ったのを忘れません。特に驚いたのは隣家の恩師、故石渡先生(当時ロータリーは平等をモットーとするという事で、自分は恩師以外の方々には敬称の「先生」を使わなかった)はじめ町のお歴々が大きな声で歌を合唱し始めたことでした。今でこそ♪御国に捧げん我らの生業♪(歌詞が古い)なんて平気でうたっていますが、それまで市内の権威と思しき人たちが宗教団体ではあるまいと一緒に歌を歌うなんてと、違和感を感じたものでした。

ロータリーを辞めようと思う事は何度もありました。その度に「辞めるのはいつでも出来る」と生来の先延ばし癖が幸か不幸か災いして今日に至っています。もっとも入会して数年後のある日、本当にロータリーを楽しまれた巨匠、故松本会員より「石渡君、ロータリーはな、一度入ったら抜けられないよ、倒産か病気以外はな」とわざわざ言われた言葉がなぜか未だ呪文のように纏わりついて離れないのであります。きっと私の心を見透かした上での言葉だったのでしょう。

それから入会してしばらくは、ロータリーバッジをよく無くしました。というのも例会・会合等結構うるさく着用するように言われ、忘れるとBOXを徴収されるほどでしたが、ロータリー以外の世間(とくに夜の巷等)では「若造のくせにそんなもん見せびらかせやがって」と思われそうでその度に外したり付けたりしているうちに無くしてしまうパターンでした。今は勿論そんなことは無い訳ですが、逆にこのマークを知らない人がほとんどで、がっかりすることが多いのです。それでも海外旅行のときは必携で、その効果新たか。通関(今時はそうでもないかも)、ツアー客同士の身分証明、外地での一般人、知人からの一応の評価、(但し土産店ではおだてられ高い物を買わされる場合あり、またはスリ等の標的に、要注意)などのメリットがあるかも。

今日は平成20年8月15日お盆の休み、終戦記念日、高校野球、そして今年は北京オリンピック、中国は8月8日このクソ暑い時になぜ開会なのかと思ったりしたのですが、来てみれば日本の盆休みに合わせてくれたお陰か、特に暑かったこの休みをテレビ漬けで楽しませてもらいました。

そうオリンピックといえば昭和50年代の前般だったと思いますが、わがクラブ例会に高名なオリンピックメダリストが訪れてくれました。それも時をおいて3名も。全て当クラブ元会員故白井さん(早大卒・競争部)の御交友の方々とお見受けしましたが、記憶力も覚束ない、私のうろ覚えの話して恐縮ですが、

まず驚かされた人物、西田修平(早大競争部)さんです。そう私年代の国語の教科書に載っていた「友情のメダル」の片方の主人公です。ベルリンオリンピックのとき棒高跳びでアメリカのメドウスの優勝が決まり二位・三位、大江選手(慶応陸上部)との決着が夜になってもつかず、競技委員は早く寝てしまいたかったのかどうか「順位は日本にまかせる」といって去ってしまいました。結局同じレベルを先に飛んだ西田さんを二位、大江さんを三位としましたが、後輩に花道をと西田さんは大江さんを二位の表彰台に押し上げたそうです。そして日本に帰国後、銀と銅メダルを半分に組み合わせお互いの健闘をたたえあったのですが、昭和16年大江さんはルソン島で戦死(27歳)されたのです。……このお話を西田修平御本人、から伺うことが出来たのですからロータリーって凄いと感じたことを忘れません。

またその後、こんどは織田幹夫(早大競争部)さんが来訪され日本人として始めて金メダルを獲得したアムステルダム五輪の三段跳び競技の裏話を披露されました。記憶が間違っているかもしれませんが、決勝の前夜、選手村でプレッシャーに悩むライバル選手たちを見つけては自ら「明日は清々堂々と戦おう」と肩をたたき、握手をして回り、自分がさも余裕があるように見せ付けて、逆に相手たちにプレッシャーを増加させた、というお話だったと思います。

三人目の来訪メダリストは、孫基禎さんです。御存知孫さんは北朝鮮生まれで明大出のランナーで、ベルリンオリンピックでマラソンの優勝者となりましたが、当時の日朝併合に抗議の意思のため「君が代」を拒否したり、新聞「東亜日報」にゼッケンの日の丸を塗りつぶした写真が載るなど民族運動の渦中の人でしたが、戦後は日本の陸上界の人々と親しく交流して日韓親善の功績をのこした歴史上の著名人。

このような著名な方々がわが例会場の自分の目の前で卓話をされるのですから、ロータリーはやっぱ凄い、辞めるのはまだ先にしようと思ってから、今日まで延び々々になっている優柔不断な男の暑い夏の回想でした。

完

入会 3 年目に大役

大網庄一郎



創立 40 周年の記念年度に、知識も経験も浅い私が、幹事という大役を仰せつかりました。記念式典及び行事は特に行わず、記念誌の発行に留めるという方針になりましたが、それでも内外の行事の多い年度となりました。

<主な行事>

1. ガラクタコンサートの開催
2. 塩山 R C を含めた富津市内 3 クラブ合同例会（潮干狩、バーベキュー懇親会）
3. 塩山 R C 創立 35 周年式典出席
4. 嘉義南 R C 会員家族 35 名来訪（合同例会、歓迎会）
5. 40 周年記念として、阿里山郷公所へ図書購入費贈呈のため台湾訪問。



- (1) 台南西 R C（友好クラブとして久しぶりの訪問）
- (2) 嘉義南 R C（阿里山郷公所へ同行）
- (3) 阿里山郷公所（図書購入費贈呈）



この訪台は、永島会長が都合で参加できなかったため、私が訪問団長として指名を受けました。訪問先 3 箇所での挨拶そして紹興酒での乾杯等、果たして私に務まるだろうか不安で一杯でしたが、志波国際委員長始め同行会員の御協力により何とか役目を果たすことが出来ました。“感謝” “感謝” です。

この様に 40 周年の式典こそ行わなかったものの、クラブとして、又幹事職としても大変充実した年度であったと思います。当クラブも、これから会員増強をはかりながら、45 周年そして 50 周年に向かって、よりよいクラブ作りと運営に全員で協力し合っていきたいと思います。

この街は第2の故郷

佐藤信泰



私の先祖は東北から北海道に渡った開拓民であったと聞いています。明治40年夕張市に生まれた父は10歳の時太平洋炭坑の前身である木村組釧路炭坑に赴任する祖父に伴われ釧路に渡った父子2代にわたる生粋の炭坑マンでした。1955年頃は太平洋炭坑も最盛期で3,500人を超える従業員がヤマで働いておりました。

当時釧路市は天然資源を背景とする三大基幹産業、即ち、石炭、水産、紙パルプ工業で栄えておりましたが、以後、1960年代にかけ石炭から石油へのエネルギー革命が進み、全国のヤマは閉山に追い込まれてゆきました。

炭坑一途に勤めてきた父は現役を終えた後は房総半島のような温暖な気候の地でのんびりと暮らしたいとよく言っておりました。釧路の気候はいつも曇りがちで、霧も多く太陽を見ない日の続くことも多く、北海道民には房総半島は常夏で自然に恵まれた夢のような地に見えたようです。

富津中央ロータリークラブの創立が1966年、奇しくもこの年の6月私の父は釧路より富津市に転入、その7年後には私もここの住民となりました。以来35年が経過し、富津市は私にとって第2の故郷となりました。3人の娘は全員大貫で育ち、それぞれに嫁いでしまいました。富津市の人口が減り続けるのは我が家を見ても分かる気がいたします。娘の友達の父との出会い、これも一期一会の縁なのか、小野さんの推薦でロータリーに入会させていただきました。入会して早12年どれだけ地域社会に役立つことが出来たのか疑問にも思いながら、この間の貴重なお付き合いや親睦の場ばかりが脳裏に焼き付いております。この5年間の中で初めて訪問した台湾、阿里山の旅が私にとって意義もあり、印象深いものとなりました。今後もロータリー活動を楽しみながら、富津市の自然も謳歌していきたいと思っております。



私のロータリー

千葉一利



はじめに：

この原稿は全く記念誌の内容に
相応しくない自分勝手な内容であ
ることをお許し頂きたい。

1. 私は病気の間屋である。パーキンソン病と前立腺肥大は10年ほど前から、狭心症は8年前から、急性の膝の関節炎にはつい最近の2年間悩まされた。加えて1昨年転んで腰椎圧迫骨折で大変だった。

パーキンソン病だと亀田クリニックで診断された時は大変なショックを受けた。何時のオリンピックだったか、モハメッド・アリが最終ランナーとして震える手で聖火台に点火したのを覚えている。彼もパーキンソンだった。すぐに何冊かの本を読んだが原因不明で難病の1つになっていた。どうしてこの病気にかかるのかが不明であって、運動を司るホルモンの関係であることは分かっている。亀田の医師の「昔からよく言われる老人のヨイヨイが少し早く来たと思いなさい」との慰めとも励ましとも取れる言葉を思い出す。この病気の発生率は1000人に1人だという。すると、この富津市にも40～50人の患者がいることになる。仲間がこれだけいるのだからと心に言い聞かせるのだが、何でこの俺がこんな変な病気にとりつかれなくてはならないのかと、神様を恨みたい気持ちだった。

でも、何時までも悩んでいてもと思い、我がクラブで高校同期の三枝ドクターに相談に

行った。「今良い薬があるからある程度進行を抑えることが出来る。私が良い先生を紹介するから」と、そして「この病気は各器官の運動機能が次第に衰えてくるので、とにかく引きこもりがちになる。プラス思考で人中に積極的に出て行き行動することだ」ロータリーを止めようと思っていた時に、この言葉が私にとって大変大きな励ましになり、迷惑をかけるかも知れないが動ける限りお世話になろうと結論を得た。持つべきは友人である。

妻を始め子供達も友人も大変心配してくれたことは言うまでもない。

2. こんな状態の私を見てか、殆どの会員から「調子はどうを」と暖かい言葉をかけて貰い、ロータリーの友情をじかに感じている。思いやりのある言葉は私に大変大きな力を与えてくれる。

2002～3 佐藤会長、高島幹事——監査、出席委員、新世代副委員長、米山委員長

2003～4 高橋会長、永島幹事——理事、職業奉仕委員長、新世代委員

2004～5 渡辺会長、志波幹事——理事、出席委員、新世代委員長、RA 副委員長

2005～6 白石会長、石渡幹事——SAA、クラブ会報委員、プログラム委員長

2006～7 永島会長、大網幹事——社会奉仕委員、ロータリー財団副委員長

これは、私の過去5年間の役割分担である。あくまでも推測だが、その年度の会長さん等が私の病気の症状や様子を考へて、なるべく負担を軽くしてやろう、逆にパーキンソンだからなるべく活動の場を与えてやろう、そんな傾向が年度によって見られ、何れもその暖かい配慮に感謝している。でもロータリーの一員である以上、決して甘える気持ちはなく、むしろ使って欲しいと思っている。



米山奨学生・金錫佑君のカウンセラー役を二年間

3. 私の生き甲斐は大部分ロータリー活動であるが、他に孫の成長、趣味の交流、政治家としての甥の成長等がある。その生き甲斐を少しでも持続させるには、病気と上手につきあうことであろう。

因みに私の今やっていることは、運動に関しては毎日3000歩以上歩くこと、柔軟体操と簡単な筋力トレーニングをすることである。ボケ防止には、囲碁、麻雀を時々。毎日のことではちょっぴりでも本を読む。俳句でも川柳でも1句作る。これだけは数年続けている。俳句・川柳は勿論上手くないが、毎日の生活や社会の出来事に取材し、五七五の中にそれを入れることに苦勞している。私の極めて短い日記である。

病気と闘い、身体と頭に刺激を与え、後期高齢者になった今、なるべく人に迷惑をかけるない生き方が出来るよう努力している。

4. 三枝会員、伊藤会員にはご指導いただきたいし、こんな事を書いて笑われるかもしれないが、俳句・川柳を作るにあたって少し学習した。ここでは俳句・川柳の成り立ちについて復習したい。

○和歌や俳句は世界で最も短い定型詩だという。四季の自然の美しさと、人々の和やかな心が産んだ日本の伝統文学である。

○人間は文字より先に言葉を持った。日本の言葉は、自然美と人間味に育まれた優しさのある言葉である。だから中国から入った漢字だけで日本語に当てはめるには無理があった。そこで仮名が作られた。ここに漢字と仮名による日本文字が出来た。奈良から平安時代であるという。

○和歌の歴史は、野良で働く人々の掛け声が歌声となり、ひびきの良い五音、七音の繰り返しで長歌が出来、和歌に成長させた。特に和歌が三十一文字の「省略美の文学」として花開いたのは、ひらがなの助詞、助動詞の助けだと言われる。

○武家の時代、文学が庶民に広がって、上の句と下の句を交互に複数の人で詠んで行く、これが連歌である。その連歌の発句を独立させたものが俳句である。連歌の発句には時が詠まれていたので、俳句に季語を入れるということだ。私は全然知らなかった。尚、この季語を省いたのが川柳である。

おわりに：以上ロータリーの本質も考えず、自分勝手のことを書いた。ご迷惑をおかけすると思うが、私にとってロータリーは生き甲斐であり、病気の特効薬でもある。更に楽しさ一杯のロータリーはかけがいのない、まさに私のロータリーである。

35周年誌に追加する5年間の記録

第37代 2002～03(平成14～15)年度

会長：佐藤信泰、幹事：高島治雄

- ① 11月23～24日 塩山RCを訪問、「旅館ゆばた」にて合同例会開催。
翌日、米山梅吉記念館見学。9名参加。

第38代 2003～04(平成15～16)年度

会長：高橋裕之、幹事：永島 強

- ① 3月10日 嘉義南区扶輪社創立25周年記念式典に6名参加。
- ② 5月23～24日 RI国際大会(大阪)に10名参加。

第39代 2004～05(平成16～17)年度

会長：渡辺 勉、幹事：志波 克

- ① 2月20日 塩山RC訪問、姉妹クラブ契約更新締結。8名参加。

第40代 2005～06(平成17～18)年度

会長：白石幸久、幹事：石渡 鋼

- ① 12月15日 志波克会員の提案により、会報のクラブ内制作開始。
- ② 3月21～23日 嘉義南区扶輪社創立27周年記念式典、マッチング・グラントによる阿里山郷公社への移動図書館贈呈式、及び嘉義南区扶輪社との姉妹クラブ契約更新締結。8名参加。

第41代 2006～07(平成18～19)年度

会長：永島 強、幹事：大網庄一郎

- ① 8月19日「ガラクタコンサート」Ticoboを大貫小学校にて開催。
- ② 3月25日 塩山RC創立35周年記念式典に9名参加。
- ③ 4月6～8日 台南西区扶輪社、嘉義南区扶輪社訪問。当クラブ創立40周年記念行事として阿里山郷公社へ図書代贈呈式。10名参加。

編集後記

創立40周年の主な記念事業は、富津市在住の幼児から小学生とその保護者を対象とした「ゴミじゃない、ならせば音楽、ティコボのガラクタコンサート」の開催と2006～07年にかけて二度にわたり台湾を訪問して行われた嘉義南区扶輪社とのマッチング・グラントによる事業であった。

志波克委員長のリードのもと、ここに完成する「40周年富津中央ロータリークラブ5年間の歩み」は、IT時代に即応した手作りの記念誌で、会員相互や友好クラブ間の意思の疎通を高めてくれるものと確信している。(佐藤 記)

2008年10月

創立40周年記念事業委員会

委員長：志波 克

委員：平川恵敏 佐藤信泰 高橋裕之 渡辺 務

40th
ANNIVERSARY

例会場：さゞ波館 〒293-0042 富津市小久保2868 Tel. 0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
Meetings at Sazanami-kan 2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken, 293-0042 Japan
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~fcrc>

200809KS